

横浜金子珠算研究塾の

そろばんを学習する指導順序です、生徒一人ひとりの学力・理解度に応じた個別指導でわかるまで指導します。

初歩を確実に学習できます。

動画を見ながら説明をしますので、楽しく練習できます。

レベル①そろばんの各部の六つの名称を学習します。 レベル②そろばんの珠と数字の関係を学習します。

一珠 (いちだま)

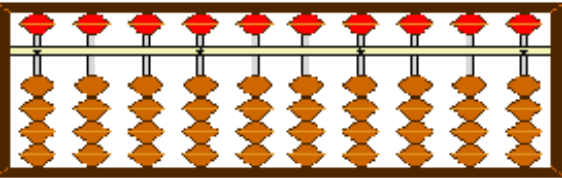
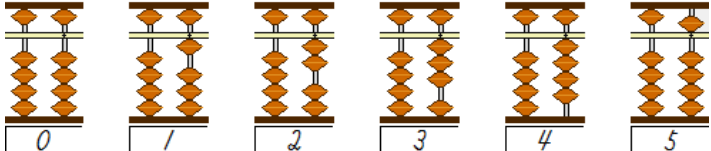
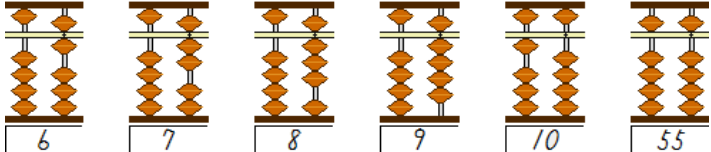
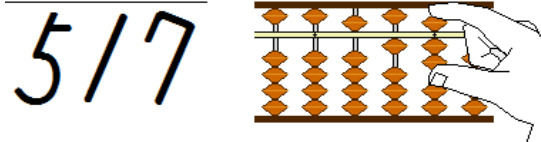
五珠 (ごだま)

定位点 (ていいてん)

桁 (けた)

梁 (はり)

枠 (わく)

レベル③ ごはさんの手順 (ゼロにする手順) を文字と動画で示します。

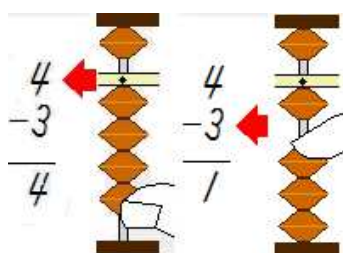


- ① 手前にかたむけて珠を全部下げる
- ② 元の位置にもどす
- ③ 五珠を上げる

レベル④ 繰り上がりや繰り下がりのない、五珠を使わない一珠だけの1桁のやさしい計算問題をします。珠を動かす指の動きをよく見ておぼえましょう。

※一の位は点のあるところに置きます。

(今度は自分の本物のそろばんを使います。)



一珠をたすには親指をつかい、一珠をひくには人差し指を使います。

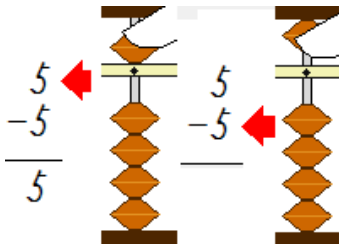
やさしい計算1桁

(1)	(2)	(3)	(4)
/	2	/	3
/	/	2	/
/	/	/	-/

- ※ 出題の数字の左側に「-」（ひく、またはマイナス）の記号があるときは、ひきざんをします。なにもない時はたしざんです。
- ※ そろばんの学習では「+」（たす、またはプラス）は書きません。
- ※ 式を見て、たし算・ひき算をすることを、そろばんでは「みとり算」と言います。

レベル⑤ 五珠を使う1桁のやさしい計算問題①をします。
珠を動かす指の動きをよく見ておぼえましょう。

(今度は自分の本物のそろばんを使います。)



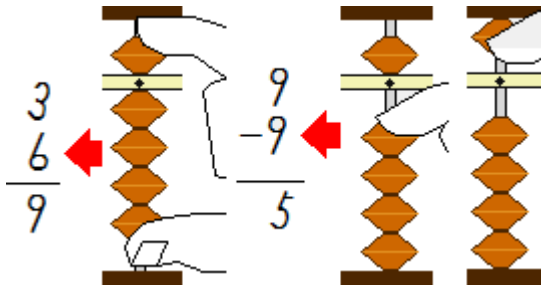
5をたすには五珠を人差し指で下げる。
5をひくには人差し指のつめがわで五珠を上げる。

やさしい計算1桁五珠

(1)	(2)	(3)	(4)
2	3	4	1
5	5	5	5
-5	-1	-2	-5

レベル⑥ 五珠を使う1桁のやさしい計算問題②をします。
珠を動かす指の動きをよく見ておぼえましょう。

(今度は自分の本物のそろばんを使います。)



6・7・8・9は挟むように足します。
引くときは人差し指で一珠を引いてから五珠を引きます。

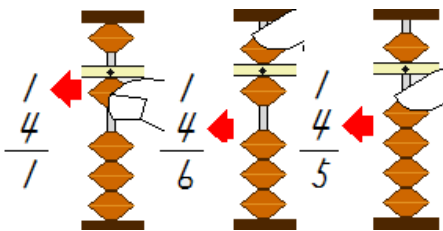
やさしい計算1桁五珠

(1)	(2)	(3)	(4)
1	2	3	1
6	7	6	8
-2	-6	-7	-6

レベル⑦ 五珠の分解を含む1桁のたしざん問題をします。

五珠をそれひとつで一珠の五つ分だと思ってください。そろばんの上にある珠は五珠で、一珠五つ分です。ここでは、計算の途中で一珠が五つ集まって五珠になる問題を学習します。

(今度は自分の本物のそろばんを使います。)



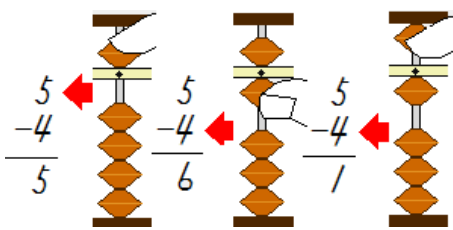
4をたしたいのに一珠でたせません、五珠が空いているから五珠を使います。でも、5をたしたら1多すぎるので1ひきます。「1 + 4 = 1 + 5 - 1」という式と同じ意味です。

◎せんせいといしょにしましょう!

1	2	3	4
1	2	3	4
4	4	4	4
2	-5	1	-7

レベル⑧ 五珠の分解を含む1桁のひきざん問題をします。

(今度は自分の本物のそろばんを使います。)



4をひきたいけど一珠で4はないのでひけません。五珠があるので五珠から4をひきます。指をスムーズに動かすために一珠の1を先にたします。

「5 - 4 = 5 + 1 - 5」という式と同じ意味です。

◎せんせいといしょにしましょう!

1	2	3	4
5	6	7	5
-4	-4	-4	-4
-1	-1	-2	2

まとめの몬드い

1	2	3	4	5	6
3	4	1	4	5	4
1	5	3	1	2	2
3	-3	4	3	-3	-5
-4	-4	-6	-4	4	6

問題集で練習もします！

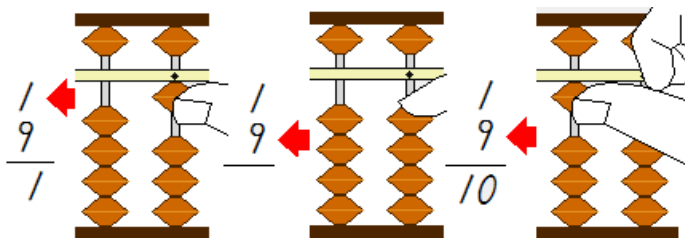


レベル⑨ 十 (=10) の分解を含む1桁のたしざん問題を学習します。

そろばんでは一珠と五珠はありますが、十珠という特別の珠はありませんが、十の位の一珠を十珠ということもあります。ですから、十の分解は十珠の分解ということもあります。

一の位だけでたせないときは？

(今度は自分の本物のそろばんを使います。)



先生といっしょにしましょう。

1	2	3	4	5	6
1	2	3	7	6	3
9	9	5	2	9	8
5	1	9	9	1	1

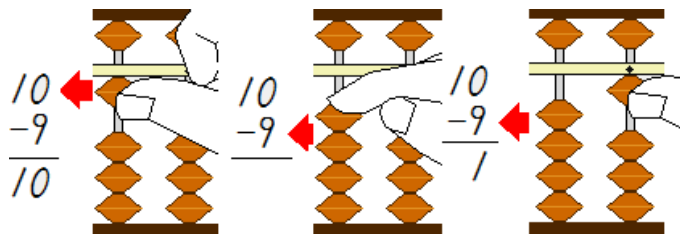
9は一の位ではたせないで、9はあといくつで10になるか考えます。

10になる数を一の位から1を引いてから10の位に10をたします。

「 $1 + 9 = 1 - 1 + 10$ 」という式と同じ意味です。

レベル⑩ 十 (=10) の分解を含む1桁のひきざん問題を学習します。

一の位からだけでひけないときは？



9をひくには一の位ではひけないので、十の位から10をひいて、ひきすぎた数を一の位に1をたします。

「 $10 - 9 = 10 - 10 + 1$ 」という式と同じ意味です。

まとめの몬드い

(今度は自分の本物のそろばんを使います。)

先生といっしょにしましょう。

1	2	3	4	5	6
10	10	6	12	16	10
-9	-9	10	21	-5	-8
2	5	-9	-9	-9	1

1	2	3	4	5	6
6	3	8	3	4	8
3	7	5	-1	-1	-3
2	-3	8	6	6	5
-1	5	-7	4	3	4

(以下、省略します。)

※ 生徒一人ひとりの理解度に応じ、2・3桁の計算も並行して行っています。



いつでも無料体験ができますよ！
遊びに来てね…♪